

令和5年度 富岡公民館（富岡地域づくりセンター） 事業報告

I 運営方針

(1) 基本方針

地域住民が気軽に立ち寄り、憩い、交流し、課題を協議し、自由に学び合える場として地域住民に親しまれる、学びの拠点、地域づくりの拠点となるような公民館を目指します。

- ① 円卓会議による地域課題の洗い出しや改善策を協議・立案する場をサポートし、アクションに繋がられる市民協働の推進を加速します。
- ② SDGsに取り組む先進事例、人材育成講座を取り入れ、地域の核となる地域づくり協議会のマンパワーを底上げし、地域力の向上を図ります。
- ③ NPO・ボランティア団体等と連携し、子ども向けの学習教室と子ども食堂を開催することで、若い世代の人材育成と子育て支援となるよう努めます。

(2) 重点施策

(ア) 学びの拠点

① 赤れんが教室

高齢者向けの講座を開催し、健康の維持増進、生涯学習及び住民同士の交流機会を増やす。

② 文化祭

事業内容：生涯学習で練習した成果を発表し、世代間の交流及び次代を担う青少年育成を図る。

(イ) 地域づくりの拠点

① 春・夏・冬休み無料学習会

市民活動団体のみんなの応援団が主催する無料学習会（子ども食堂含む）を地域づくり協議会が後援する。

② 地域づくり協議会運営支援

安定した活動継続のため、新しい生活様式への対応、地域づくり協議会の認知度の向上や担い手人材育成、地域づくり協議会の自立運営を支援する。

(ウ) 施設管理運営

① 円卓会議の開催

様々な立場の人が集まり、お互いの力や地域の課題を共有しながら、対話を積み重ね、協働による地域社会実現のための会議を開催。

2 事業実績

対象	事業名	講座名	実施月	延人数	回数	主催 共催
小学生 青少年	学習支援	たのしい理科あそび教室	7~8月	23人	2回	主催
		無料学習会	4~3月	846人	11回	共催
	青少年育成講座	こども安全教室	7月	27人	1回	共催
青少年 成人 高齢者	文化講座	ゆかたの着付け教室	7月	36人	3回	主催
		写真の撮り方教室	7~2月	53人	5回	主催
		初級ボールペン字教室	11~3月	47人	5回	主催
	ものづくり・体験講座	寄せ植え体験教室	7~11月	24人	2回	主催
		七味とうがらしのワークショップ	6・12月	21人	2回	主催
		簡単にできる料理教室	1月	21人	2回	主催
高齢者	健康講座	機能改善体操と貯筋運動(第1期)	6~3月	189人	19回	主催
		赤れんが教室	11~3月	189人	9回	主催
		いきいき健康教室	11~3月	173人	11回	他
親子	食育学習	家族で食育教室	7・10月	30人	2回	共催
地域住民	地域交流	ポッチャ&スマイルボウリング大会	5月	22人	1回	共催
		スポーツ雪合戦体験会	5月	42人	2回	共催
		Aドッジ体験・練習会	6~1月	162人	9回	共催
		花の街とみおかプロジェクト	6・12月	157人	4回	共催
		グラウンドゴルフ大会	10月	50人	1回	共催
		健康マージャン交流会	8~3月	222人	15回	共催
		そば打ち交流会	12・1月	68人	2回	共催
		里山ハイキング	2月	24人	1回	共催

		富岡地区防災訓練	9月	1407人	1回	共催
		防犯講習会	12・1月	68人	2回	共催
		AED講習会	12月	13人	1回	共催
	地域交流、 防災・防犯	ハイゼックス炊き出し 講習会	3月	17人	1回	共催
	文化祭	富岡地区文化祭	3月	700人	1回	共催

3 主な事業紹介

(1) 事業名・講座名 健康講座「赤れんが教室」

①ねらい

富岡地区内にお住いの概ね60歳以上のシニア層の方々が、「生きがい」のある日常生活を送るために、様々な学習機会を提供し、積極的に生涯学習に取り組んでいただく。

②事業内容

全9回、毎回ジャンルの異なる内容の講座を実施

- ・第1回 薬と栄養について一緒に考えよう
- ・第2回 転倒予防の知識と運動の実施
- ・第3回 富岡シルク体操を中心とした健康づくり
- ・第4回 悪徳商法にだまされるな
- ・第5回 想いをつなぐノートが日本を変える
- ・第6回 任意後見人について
- ・第7回 人生会議 もしもの時のこと考えてみませんか
- ・第8回 からだと心のつらさを和らげる緩和ケア
- ・第9回 口腔衛生

(2) 事業の評価・反省

「生きがい」を見つけるきっかけ、受講者同士の新たな人間関係を築くきっかけになればという思いから開催している講座です。アンケートによる満足度調査の結果も高く、参加されたみなさんは笑顔で、明るい雰囲気の中で受講していただくことができました。

4 今年度のまとめ（総合的な評価・反省）

評価	評価理由、主な取組、工夫した点、課題等
4	前年度に感染症対策を理由に規模を縮小または中止した企画を再開する等、前年の課題を改善しつつ、地域の特性を活かした講座や交流会を開催し、継続事業の発展と新事業の展開に取り組みました。次年度は、各事業のアンケート結果をもとに、さらなる改善・事業展開を図ります。

◎評価の基準：5＝大変よくできた。4＝よくできた。3＝おおむねできた。

2＝あまりできなかった。1＝できなかった。